

事務局

1、社協組織の基盤強化

(1) 役員会等の開催

会議名	開催日
理事会	6月11日(火)、9月26日(木)、12月26日(木)、2月5日(水)、 3月14日(金) 【合計5回開催】
評議員会	6月26日(水)、10月1日付提案 決議の省略、1月28日(火)、 3月27日(木) 【合計4回開催】
監査会	5月31日(金)、9月5日(木)、11月28日(木)、2月27日(木) 【合計4回開催】
評議員選任・ 解任委員会	5月22日(水) 【合計1回開催】

(2) 経営改善への取り組み

- ①法人全体の経営体制を強化し、営業・予算管理の会議体や実績共有等の仕組みを整備しました。
- ②令和7年3月31日をもって出張デイサービスを終了し、翌4月1日より「お元気デイサービス」をリニューアルした介護予防事業を開始することを決定し、そのための調整および準備を進めました。
- ③デジタル技術を導入・活用し、業務の効率化と運営の質の向上に努めました。
- ④組織再編を含む体制全体の見直しについて検討を行いました。

(3) 法人運営に係る研修・会議等

- ①安全運転研修 5月16日(木)、5月23日(木)
- ②苦情対応システム研修会 10月 2日(水)
- ③長野県内社会福祉協議会ハラスメント防止研修 10月24日(木)
- ④管理監督者対象 職場のメンタルヘルス研修 12月 4日(水)
- ⑤職員対象メンタルヘルス研修 セルフケアセミナー 2月21日(金)
- ⑤第三者委員会 3月 6日(木)
- ⑥新任職員研修 3月21日(金)
- ⑦ダイヤモンド経営塾 年6回 等

(4) 新型コロナウイルス等感染症対策

- ①法人事業所での新型コロナウイルス感染者の発生状況
職員：34名 利用者様：15名
- ②感染症対策会議の開催 8回
- ③新型コロナウイルスに係る法人内ルールの作成と徹底
- ④新型コロナウイルス感染者発生時の、職員・利用者様への検査の実施
- ⑤保健所、医療機関、役場等との連携

2、地域福祉活動の推進・支援

(1) 福祉関係団体等への活動支援

事務局として下記の団体の活動を支援しました。

- 身体障がい者福祉協会

3、防災と災害復旧・復興支援

(1) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表に伴う主な対応

- 8月8日（木）、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたことに伴い、役場保健福祉課と連携しながら、要配慮者に対し情報提供や注意喚起を行いました。また、避難者の受け入れ依頼があった場合の受け入れ態勢を整えました。

(2) 能登半島地震支援

- 能登半島地震の被災地支援として、地域ボランティアセンターから、合計2名の職員を石川県へ派遣しました。（4月）
- 松川町と連携し災害義援金の受付を実施しました。

(3) マニュアルの整備・更新

- 業務継続計画（BCP）委員会を開催し、業務継続体制の整備と見直しの取り組みを行いました。

(4) 災害用備蓄の整備

- 大規模災害に備え、食料、飲料水、その他生活必需物資等の備蓄品を整備・更新しました。

4、共同募金運動

(1) 赤い羽根共同募金の実績

自治会戸別募金	1,342,317 円
法人募金	231,000 円
職域募金	44,155 円
イベント募金	29,087 円
個人募金	11,511 円
町内設置募金箱	6,405 円
募金総額	1,664,475 円

5、その他

(1) 受賞等

- 長野県安全運転管理者協会長・長野県警察本部長連盟表彰優良事業所を受賞。
6月10日（月）

地域ボランティアセンター

1、住民相談等への対応

(1) くらしの相談

①幅広い悩みごとに対応した「くらしの相談」を毎月20日（20日が土・日曜日または祭日の場合はその前日）の午前9時から正午まで中央公民館えみりあで開催しました。

相談所開設回数：12回 相談件数：12件

(2) 金銭管理・生活困窮者自立支援

①【日常生活自立支援事業】認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でないため日常生活での福祉サービスの利用や、金銭管理等がうまくできない方への支援を行いました。

実利用者数：5名 / 延べ支援回数：141回

②【自立相談支援事業】生活就労支援センター「まいさば飯田」の出張相談所として関係機関と連携し、生活困窮者の相談窓口業務を行いました。

○出張相談同席回数：8回

③【緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業】

○訪問回数：69件 電話による状況確認：随時

○年末食材配布会及び相談会 12月28日（土） 参加者：19名

(3) 生活福祉資金の貸付（実施主体：長野県社会福祉協議会）

資金種類	令和7年3月31日現在で貸付中の件数
総合支援資金（新型コロナウイルス感染症の特例貸付）	※7件
総合支援資金（新型コロナウイルス感染症の特例貸付）の延長	※2件
福祉資金 福祉費	1件（内、令和6年度新規貸付1件）
緊急小口資金（新型コロナウイルス感染症の特例貸付）	※5件
緊急小口資金	1件（内、令和6年度新規貸付0件）

※特例貸付の受付は令和4年9月30日で終了となっています。

○生活福祉資金借入相談延べ回数 9件

(4) くらしの資金貸付（松川町社協独自事業）

○令和7年3月31日現在で貸付中の件数 7件（内、令和6年度新規貸付3件）

○くらしの資金の借入相談延べ回数 8件

2、地域福祉活動の推進・支援

(1) ふれあい・いきいきサロンの推進・支援

- ①町内で活動する33のふれあい・いきいきサロンの運営相談、講師の紹介、活動に必要な道具の貸し出しを随時実施しました。
- ②ふれあい・いきいきサロン関係者を対象とした情報交換会。
○6月7日(水) 参加者：12名
- ③マイクロバスを運転手付きで貸し出しました。 貸し出し：11サロン
- ④ふれあいサロン傷害補償の加入手続きを随時実施しました。
- ⑤【いちごサロン】開催を推進・支援しました。

開催日	参加者数			
	一般参加者	いちごサロンスタッフ	社協職員等	合計
4月17日(水)	5名	7名	2名	14名
5月15日(水)	11名	5名	2名	18名
6月14日(金)	8名	3名	2名	13名
7月17日(水)	5名	5名	2名	12名
8月21日(水)	10名	6名	2名	18名
9月13日(金)	5名	5名	2名	12名
10月16日(水)	7名	4名	2名	13名
11月15日(金)	2名	6名	2名	10名
12月13日(金)	10名	6名	2名	18名
1月15日(水)	15名	7名	2名	24名
2月14日(金)	14名	5名	2名	21名
3月14日(金)	8名	6名	2名	16名

(2) ボランティアコーディネートの充実

- ①ボランティア相談受付・コーディネート
○相談件数：9件
○内容：住民の方のボランティア活動、施設でのボランティア活動、学生ボランティア
- ②ボランティア連絡協議会の活動を事務局として随時支援しました。
○第1回役員会 8月20日(火) 参加者：4名
内容：令和6年度ボランティアのつどいについて
○第2回役員会 3月12日(水) 参加者：4名
内容：令和6年度総会について
○ボランティアのつどい ～手話べりしましょう～ 9月29日(日) 参加者：15名
○飯伊ブロックボランティア交流研究集会 2月8日(土) 於：さんとぴあ飯田
参加者：11名
○令和6年度総会 3月26日(水) 参加者12名
- ③6.25 住宅デー奉仕活動での高齢者宅依頼取りまとめ
○6月23日(日) 依頼者：5名 ※雨天のため高齢者宅での作業は中止

④ボランティア保険の加入手続きを随時実施しました。

○ボランティア活動保険加入者：768名

○ボランティア行事用保険加入者：292名

⑤傾聴ボランティアたんぽぽの会の活動を事務局として支援しました。

○傾聴ボランティア会員：6名

○実利用者〈個人〉：2名

・傾聴ボランティア派遣回数：14回 傾聴ボランティア派遣人数：2名

○実利用者〈施設〉：2施設

・傾聴ボランティア派遣回数：1回 傾聴ボランティア派遣人数：1名

（３）福祉推進委員の充実・活動の周知

①【福祉推進委員会】福祉推進委員の役割と業務を明確にし、活発な活動を促すため、福祉推進委員会を開催しました。

○４月３０日（火）新井・名子・古町・福与地区 参加者：29名

○５月１日（水）上大島・上片桐・部奈・生東地区 参加者：21名

（４）地域福祉への理解を広げる学習会等の開催・情報発信

①【福祉懇談会】福祉推進委員、民生児童委員、社協職員を対象に、福祉懇談会を4地区で開催。

○７月１７日（水）上片桐地区 参加者：29名

○７月１８日（木）大島地区① 参加者：33名

○７月２４日（水）大島地区② 参加者：36名

○７月２５日（木）生田地区 参加者：24名

②【福祉出前講座】関係機関や町内の社会福祉法人等にもご協力いただき、福祉出前講座メニューを16講座作成しました。

③各種団体、自治会などを対象に、福祉出前講座を開催しました。

○開催回数：4回

（５）地域交流活動の促進

①【地域交流事業】

○福祉コンサート ３月２９日（土）参加者：54名

（６）福祉関係団体などへの活動支援

①福祉を考える会の活動支援

○役員会 7回

○運営委員会 5回 ※第1回は大雨のため書面報告

○一元募金運動 6月1日（土）～7月1日（月） 募金額：159,420円

○ペットボトルキャップの回収 6月1日（土）～7月1日（月） 総重量：300.9kg

○ふれあい広場バザー 10月20日（日）売上金：59,986円

○視察研修 12月18日（水） 於：はなぶさハウス松川 参加者：7名

②松川町赤十字奉仕団の活動支援

○ボランティア活動保険加入手続き 171名

○下伊那赤十字病院の行事支援

- ・ポプリ作り 7月10日（水） 参加者：8名
- ・日赤健康まつり 10月12日（土） 参加者：6名
- ・下伊那赤十字病院災害訓練 10月31日（木） 参加者：10名
- 長野県支部委員会 4月19日（金） 於：日本赤十字社長野県支部 参加者：2名
- 北部ブロック委員長・事務局会議 4月23日（火） 於：松川町社会福祉協議会 参加者：2名
- 下伊那郡正副委員長会 5月31日（金） 於：飯田合同庁舎 参加者：4名
- 北部ブロック研修会 6月27日（木） 於：えみりあホール 参加者：78名
- 地域赤十字奉仕団幹部研修会 7月2日（火） 於：下條村文化芸能交流センター 参加者：8名
- 赤十字救急法講習会 8月24日（土） 於：えみりあ 参加者：65名
- ふれあい広場 災害食体験 10月20日（日） 参加者：11名
- 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 11月23日（土） 参加者：5名
- 令和6年度総会 3月8日（土） 於：えみりあ 参加者：72名
- 福祉施設での奉仕活動の調整・支援
 - ・町内（4施設） 活動回数：4回 延べ参加者数：59名
- 正副委員長会 5回
- 役員会 5回
- ③松川町遺族会
 - 定期総会 4月11日（木）
 - 三役会 3回
 - 護國・靖國神社参拝 7月12日（金）～13日（土） 16名参加
 - 松川町戦没者追悼式 8月23日（金）
 - 長野県戦没者追悼式 10月25日（金）～26日（土）
- ④松川町手をつなぐ育成会
 - 定期総会 7月21日（日）
- ⑤NPO 法人はなぶさ学園の活動支援
 - はなぶさカフェ in 松川町社協イルミネーション
生活福祉資金フォローアップ支援対象者への食材、灯油の配布を行いました。
12月24日（火） 参加者：19名
- ⑥【ふれあい広場】
 - 第33回ふれあい広場の開催を事務局として支援しました。
10月20日（日） 催事数：47
- ⑦【福祉を考える集会】
 - 第42回福祉を考える集会「ひとりで悩まんだっていいだに～私にできることを考えよう～」
於：えみりあ 参加者：117名

（7）子育て環境と地域の子育て支援の充実

- ①【おとなのラジオ体操カード】
 - おとなのラジオ体操カードを作成し、町内に全戸配布（7月）しました。
- ②NPO 法人 Hug への支援
 - フリースクールへの協力として社協版フリースクールを開催しました。
 - 開催回数：23回

③南信州子ども応援プラットフォームへの参加

○全体会議への出席 7月25日(木) 於:飯田合同庁舎

3、高齢者・障がい者・介護者等への支援

(1) 支援を必要とする人の把握と適切な対応

①関係機関、地域住民、及び社協内の関連部署と協力し、随時対応しました。

(2) 一人ぐらし高齢者等への支援

①【シングルの会】

【登録会員:9名】

○4月11日(木) 参加者:4名 お花見、清流苑見学・昼食

○6月12日(水) 参加者:3名 会員指導のもと体操、カップイン・ワン

○9月11日(水) 参加者:3名 料理教室

○10月9日(水) 参加者:5名 秋の遠足(飯田美術博物館、匠の庄飯田他)

○12月11日(水) 参加者:3名 料理教室

○3月12日(水) 参加者:5名 料理教室

②生活支援コーディネーターによる要見守り高齢者への生活支援

訪問実世帯数:28世帯 / 延べ訪問回数:156回

③【ボランティア横づな】と【ボランティアの日】の運営

○ボランティア横づな登録者数

・145名(一般25名、学生2名、松川町役場職員58名、松川町社協職員60名)

○ボランティアの日

開催日	支援世帯	ボランティア横づな参加者
5月12日(日)	5世帯	7名
6月2日(日)	6世帯	10名
7月7日(日)	4世帯	10名
8月4日(日)	4世帯	11名
9月1日(日)	台風接近のため中止	
10月6日(日)	6世帯	8名
11月10日(日)	3世帯	11名
12月1日(日)	5世帯	9名
1月12日(日)	3世帯	5名
2月2日(日)	4世帯	7名
3月2日(日)	3世帯	5名

○生活支援利用登録世帯

・19世帯

○活動参加促進の取り組み[活動参加5回で横づなTシャツ1枚プレゼント(1度のみ)]

・対象者:0名

○活動参加促進の取り組み[活動参加10回で横づなアウター1枚プレゼント(1度のみ)]

・対象者:2名

（３）介護者への支援

①【介護者教室】

- ５月 参加者：８名 「パン作り」 講師：竹下則子様
- ９月 参加者：７名 「フラワーアレンジメント」 講師：寺澤桂子様
- １１月 参加者：３名 「体すっきり体操教室」 講師：宮澤繁子様
- １月 参加者：４名 「介護者カフェ」 茶ろん ときわ
- ３月 参加者：７名 「春ランチ@Hug」

②【在宅介護者リフレッシュ事業】

- ７月 参加者：１１名 日本料理を楽しむ、お寺の庭園と法話で心を癒す会（飯田市）

（４）介護が必要な高齢者・身体障がい者の外出や交流の支援

①【レンゲツツジの会バスハイク】（事務局として支援）

- ６月２９日（土） 北澤美術館・尖石縄文考古館の旅 参加者：３０名

②【希望の旅事業】

- １０月３０日（水） 石井味噌・浮世絵博物館・道の駅小坂田公園 参加者：１４名
- １１月 ８日（金） 天竜峡大橋・天龍峡交流館ご湯っくり・豊丘マルシェ 参加者：６名

（５）地域支援事業任意事業

①【配食サービス事業】 昼食の弁当配達と声がけ活動

- 対象 一人ぐらし高齢者・高齢者世帯など
- お弁当作り担当 【味の里松川】火・木 【松川荘】月・水・金
- 配達 ボランティアグループ「ゆきわり草」
- 利用者への配食回数 希望により週１回～週２回

月	配食数	月	配食数	月	配食数
４月	２２８食	８月	２１２	１２月	２０２
５月	２１８食	９月	１９９	１月	１９１
６月	２０５食	１０月	２３２	２月	１７８
７月	２１８食	１１月	２０４	３月	１８７

- 生活支援コーディネーターによる弁当代集金を兼ねた見守り訪問 延べ訪問回数：２９６回

②【認知症カフェ補完事業やすらぎ支援事業】

- オレンジカフェ利用者 実利用者数：０名 延べ利用回数：０回
- 在宅軽度認知症利用者 実利用者数：４名 延べ利用者数：３５回
- 社協が主催する一人ぐらしの会への参加者

会の名称	支援員参加回数	延べ支援員派遣数
独楽の会	１回	１名
自由の会・桐の会	１回	１名
合計	２回	２名

4、福祉教育の推進

(1) 福祉推進校の指定・支援

- ①中央小学校・松川中学校・松川高校・NPO 法人 Hug にそれぞれ補助金を3万円、北小学校に補助金を2万円交付しました。
- ②【福祉推進校連絡会】各校の福祉活動の内容や課題など、情報の共有と、連携をとりあう目的で福祉推進校連絡会を開催しました。
○7月2日（火） 出席者：各学校関係教諭・地域コーディネーター・NPO法人Hug

(2) 小・中・高校の福祉学習などへの支援

- ①【ニコボラ】中学生ボランティア体験事業の活動支援
中生活動日数：146日 延べ活動者数：569名
- ②松川中学校 キャリアトーク in 松川 への参加 4月17日（金）
- ③【小学校 夏休みぶちボランティア体験】夏休みを利用した小学生のボランティア体験メニューを作成、開催しました。
○開催日数：9日 延べ参加者数：27名
- ④松川高校キャリアデイ受け入れ 10月31日（木） 生徒数：18名

(3) こども福祉教室“あいむ”の活動支援

- 6月22日（土） 開校式&国際交流 参加者：19名
- 7月28日（日） ボランティア体験ツアーin 蓼科アミューズメント水族館
参加者：24名
- 10月20日（日） ふれあい広場に参加しよう！ 参加者：20名
- 12月 1日（日） 森歩き&森の中で昼食会 参加者：17名
- 3月 8日（土） 防災講座&開校式 参加者20名

5、防災と災害復旧・復興支援

(1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

- 11月23日（土）
参加者：73名（民生児童委員／福祉推進委員／松川町赤十字奉仕団／松川町役場総務課・保健福祉課／牧之原市社協／阿南町社協／松川町社協役職員）
防災・減災体験講座への協力団体：飯田ボランティア協会／日本防災士会

(2) 被災地支援

- ①能登半島地震関連
 - 災害ボランティアセンター運営支援者の派遣
【派遣先：石川県能登町災害ボランティアセンター 能都サテライト】
・3月29日（金）～4月2日（火） 派遣職員：1名
 - 災害ボランティアの派遣

【派遣先：石川県能登町災害ボランティアセンター 能都サテライト】

・4月18日（木）～4月19日（金） 派遣職員：1名

○松川町と連携し、災害義援金の受付を実施しました。

6、地域福祉情報の受発信

（１）社協だより・ボランティアだよりなどの発行

- ①社協だより「ずーっといっしょ」を隔月発行、全戸配布しました。 186号～191号
- ②ボランティアだより「ふれあいひろば」を隔月発行、全戸配布しました。186号～191号
- ③役場・支所・公民館の他、町内の病院・診療所の待合室に社協だより・ボランティアだよりの設置を依頼、配布をしました。

（２）チャンネル・ユー、インターネットの活用

- ①【チャンネル・ユー「社協だより」】チャンネル・ユーを利用して「社協だより」を発信しました。
 - 4月 飯伊ブロックボランティア交流研究集会
 - 5月 地域福祉事業紹介
 - 6月 介護者教室&レンゲツツジの会のお知らせ
 - 7月 レンゲツツジの会 バスハイク
 - 8月 あいむ ～ボランティア体験ツアー～
 - 9月 コミュニティ・カフェ ～フラダンス&ギター演奏～
 - 10月 ボランティアのつどい ふれあい広場告知
 - 11月 ふれあい広場
 - 12月 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
 - 1月 ぽっかぽかの会 おせち作り
 - 2月 ボランティア横づな&福祉を考える集会のお知らせ
 - 3月 福祉を考える集会
- ②ホームページの管理・運用
 - ホームページを随時更新し、最新情報を発信しました。
- ③フェイスブック、エックス、インスタグラムの管理・運用
 - フェイスブック、エックス、インスタグラムを随時更新し、最新情報を発信しました。

7、社協組織の基盤強化

（１）社協会費

会員区分	会費	会員数	合計金額
一般会員（一世帯）	1,000 円	2,768 人	2,768,000 円
賛助会員（特にご協力いただける個人）	2,000 円	214 人	428,000 円
特別会員（企業・団体等）	8,000 円	76 法人	608,000 円
合計			3,804,000 円

ヘルパーステーション

1、一人ぐらし高齢者支援

①一人ぐらし高齢者の会（自由の会・桐の会・こまの会）

○大島、上片桐、生田の三地区（大島と上片桐は合同開催）で、脳トレや体操・軽スポーツで交流しました。今年度は感染症対策をとりながら三地区交流会や全体交流会以外の月に開催することができ、参加された皆さんに喜んでいただくことができました。

【3月末現在の登録者数】 31名

②一人ぐらし高齢者の交流会

○三地区交流会

4月17日（水）、17名が参加し、コロナ禍以降中止していたお花見を再開しました。光前寺の桜を鑑賞した後、かんてんぱぱにて昼食と買い物を楽しみ、ゆったりとした時間を過ごしていただきました。

○町内一人ぐらし全体交流会

11月29日（金）、社会福祉センターにて35名が参加し、午前中は介護支援センターによる講話、午後は猿回しの公演を行い、参加者の皆様に楽しいひとときを過ごしていただきました。

③こんにちは訪問

【3月末現在の登録者数】 0名

2、介護保険事業

①訪問介護

【年間実利用者数】 66名 【年間延べ派遣回数】 3,910回

○要介護1～5の方を対象に、居宅サービス計画書に沿って個別援助計画を作成し、身体介護・生活援助のサービス提供を行いました。また、定期的にサービス内容を評価し、改善に取り組みしました。

3、介護予防・日常生活支援総合事業

①訪問型サービス（独自）

【年間実利用者数】 21名 【年間延べ派遣回数】 666回

②訪問型サービスA

【年間実利用者数】 0名 【年間延べ派遣回数】 0回

○要支援1・2・事業対象者の方を対象に、介護予防サービス支援計画書に沿って個別援助計画を作成し、主に生活援助のサービス提供を行いました。定期的にサービス内容を評価し、改善に取り組みしました。

4、障がい者総合支援事業

①身体障がい者居宅介護

【年間実利用者数】 4名 【年間延べ派遣回数】 889回

②精神障がい者居宅介護

【年間実利用者数】 4名 【年間延べ派遣回数】 323回

③知的障がい者居宅介護

【年間実利用者数】 1名 【年間延べ派遣回数】 41回

○サービス等利用計画に沿って個別援助計画を作成し、生活援助と身体介護のサービス提供を行いました。定期的にサービス内容を評価し、相談支援専門員他関係機関との連携を取りながら、相談や助言も行いました。

5、福祉教育の推進

①福祉学習への支援

○飯田短期大学生生活科学学科介護福祉専攻2年生2名の介護実習受け入れを、感染予防対策を図りながら行いました。一緒にご利用者様宅を訪問し支援を行いながら、在宅での支援について学んでいただきました。

○飯田短期大学看護学科（地域・在宅看護論実習）3年生3名の実習受け入れを行いました。

デイサービスセンターひまわり荘

1、介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 通所サービス

①お元気デイサービス〔通所型サービス（独自）〕

【年平均一日利用者数】 4. 5名

【利用回数】 介護支援専門員の計画に沿った回数（月1～8回）で利用

○要支援1・2、事業対象者の方を対象に、感染症対策をとりながら、レクリエーションや脳トレ、筋力維持のための体操を行い介護予防に努めました。

※令和7年4月1日より、お元気デイサービスをリニューアルした新たな介護予防サービス、元気と笑顔になれる場所『ハッピー』を提供。

(2) 介護予防サービス

①出張デイサービス〔一般介護予防事業〕

【年平均一日利用者数】 5. 1名

【開所日数】 84日

【利用回数】 1組につき月1回（全7組）

○利用者の意向を伺い、感染症対策をとりながら、転倒予防、介護予防を意識したレクリエーションを取り入れ活動しました。

※令和7年3月31日をもって出張デイサービスを終了し、元気と笑顔になれる場所『ハッピー』に移行。

②コミュニティ・カフェ〔一般介護予防事業〕

【年平均一日利用者数】 10. 6名

【開所日数】 239日

○高齢者に活躍の場を提供し、感染症対策の対応ができるメニューから取り組みたい内容を自己選択・自己決定をすることで、楽しみながら介護予防に繋がる活動をしました。

※令和7年4月1日より担当部署が地域ボランティアセンターになります。

2、介護保険事業

通所介護事業

【年間実利用者数】 132名（前年度 130名）

【年間延べ利用者数】 7, 345名（前年度 7, 591名）

【年平均一日利用者数】 23. 8名（前年度 24. 6名）

○個別通所介護計画に沿ったサービスの提供を行いました。また、定期的にサービス内容を評価し、改善に取り組みました。

○個別機能訓練計画に沿って作業療法士・看護師による機能訓練の提供・評価を行い身体

機能の維持、改善に努めました。【機能訓練加算、月平均21.5名】

- 介護支援専門員、他関係機関との連携を取りながら、利用者様やご家族に対して相談や助言を行いました。また、ご要望に合わせ臨時利用や時間延長利用の受け入れを行いました。

3、福祉教育の推進

福祉教育の提供の場としての支援

福祉教育の提供の場としての支援

- 中学生職場見学、ニコボラの受け入れを実施しました。
- 短期大学生の介護実習および看護実習の受け入れを実施しました。
- 大学生の介護等の体験の受け入れを実施しました。

4、防災と災害復旧・復興支援

防災・防犯訓練の実施

防災訓練 1月22日（水）

防災訓練・BCP訓練 3月12日（水）

社協介護支援センター

1、高齢者・障がい者・介護者等への支援

(1) 地域福祉支援

- ①9月24日（火） 茶ろん ときわにて『介護サービスあれこれ』と題し、「自立した高齢者でいるために、さまざまなことを知っておきたい」との参加者の声を受け、5名の方と意見交換を行いました。

(2) 介護者への支援

- ①緊急一時預かり事業 対応件数… 0件
②地域ボラ主催の介護者教室にケアマネ2名が参加・協力しました。

(3) 福祉用具の貸与

- ①社協の所有する介護用ベッド・吸引器・車いすの貸し出し延べ数
介護用ベッド… 9台 吸引器… 14台 車いす… 34台

2、介護保険事業

(1) 居宅介護支援

- ①令和6年度の居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成状況
★介護担当数 2, 436名 （前年比 ▲52名）
給付管理数 2, 133件 （前年比 ▲4件）
★予防担当数 232名 （前年比 +28名）
給付管理数 216件 （前年比 +36件）
②新規依頼を受けるように努めました。新規利用者を63名受けました。
③入院時の病院との連携を速やかに行うように努め、また、退院時には、在宅生活を安心して過ごせるようにサービス調整をしました。

(2) 特定事業所加算Ⅱの算定条件への取り組み

- ①週1回、部署内でケアマネ会議を開催しました。支援方法の模索や支援内容の振り返りを通じて事例検討を行い、多様な視点からの意見交換により、新たな気づきを得るとともに、今後の支援に活かせるよう取り組みました。また、7名のケアマネジャー間での情報共有を行い、担当者不在時にも対応できる体制づくりに努めました。
②以下の学習会等を部署内で開催し、理解を深めました。
○身体拘束学習会 6月26日（水）

- 虐待防止の指針・マニュアルの確認 7月24日（水）
- 災害対策机上訓練の情報共有 8月 9日（金）
- 感染症学習会 8月14日（水）
- 認知症研修 3月19日（水）

- ③令和7年2月に介護支援専門員実務研修実習生2名を受け入れました。
- ④地域包括支援センター主催のケアプラン点検に主任ケアマネとして協力するにあたり、研修に1名参加しました。 6月4日（火）
- ⑤地域包括支援センター主催のケアプラン点検に参加し、自立支援に資する適切なアセスメントや介護サービスの位置づけなどについて確認しました。
10月23日（水）
- ⑥地域包括支援センター主催の他事業所と共同での事例検討会（年3回）に参加しました。 6月13日（木） 9月12日（木） 12月12日（木）
- ⑦北部ブロック（喬木・豊丘・高森・松川・大鹿）のケアマネ連絡会の研修（年4回）に参加し、他事業所と顔の見える関係性が築けるように努めました。
5月15日（水） 8月21日（水） 11月13日（水） 2月19日（水）

特別養護老人ホーム 松川荘

1、介護保険事業の運営

(1) 介護福祉施設サービス

①定員 50名

②男女別入所者数・平均年齢・平均介護度（令和7年3月31日現在）

性別	入所者数	平均年齢	平均介護度
男性	4名	84.8歳	4.5
女性	43名	88.7歳	4.3
	計 47名	平均88.3歳	平均 4.3

③市町村別利用状況（令和7年3月31日現在）

市町村	松川町	飯田市	豊丘村	高森町	阿智村	喬木村	大鹿村	計
人数	28	14	2	3	0	2	1	50

④令和5年度入退所状

○入所者合計 17名

○退所者合計 14名

(2) 短期入所生活介護

①定員 8名

②稼働日数 365日

③年間実利用者数 65名

④年間延べ利用者数 2,579名（退所日を含める）

⑤一日平均利用者数 7.1名（退所日を含める）

⑥平均介護度 3.2

2、事故防止・感染防止

(1) 介護事故の防止

①ヒヤリハットの収集・分析を随時行ないました。

②事故防止検討委員会を毎月1回開催し、再発防止策を検討して職員に周知徹底しました。

③事故防止学習会を年2回開催 1月24日（ヒヤリハット集計・間違い探し）・3月12日（法的責任と事故対応について、あいおいニッセイ同和損害保険）事故防止への職員の

意識向上と知識・技術の習得に努めました。

（２）感染症予防の取り組み

①感染症対策委員会を開催し、感染対策の検討と職員への周知徹底を図り、感染症予防に努めました。

【感染症対策委員会】年４回開催（６月１８日、９月２４日、１１月１８日、２月１８日、）

②感染症学習会を年３回開催（５月には下伊那赤十字病院感染症認定看護師の松下美幸氏を講師に、感染症対策の基本を行いました。８月には、看護師により防護服の着脱訓練を行いました。１２月には、吐物処理訓練を行いました。感染症への職員の意識向上と知識・技術の習得に努めました）

③年間通して新型コロナウイルス感染症等へのスタンダードプリコーションの徹底と職員の意識向上で日々の情報に注視し取り組みました。

３、利用者様へのサービス向上

（１）生活単位を小さくしたグループケア

①心身の状態と介護保険のサービス種類（介護福祉施設サービス、短期入所生活介護）によるグループ編成を継続し、利用者様の状態に応じたきめ細かなケアに努めました。

②サービス担当者会議を定期的に行い、利用者様・ご家族が望む生活を職員間で確認・共有し、実現に努めました。

③個別の排せつケア（個々の利用者様にあった排せつ方法や、介助方法、排せつ用品の使用）により、清潔で快適な生活と、身体機能の維持向上に努めました。

（２）行事・娯楽の充実

①生活に潤いと変化をもたせ、喜びと生きがいにつながるよう、季節に合わせた行事を毎月企画・実施しました。

月	内容	月	内容
４月	お花見散歩（複数回） ３月２８日～４月１９日	１０月	紅葉狩り散歩（１１日～３１日） ふれあい広場作品展示（１９・２０日） ウクレレ演奏会（２９日）
５月	ウクレレ演奏会（２９日）	１１月	喫茶まつかわそう（１９日）
６月	喫茶まつかわそう（１３日）	１２月	クリスマス会 ウクレレ演奏会（１２日）
７月	七夕祭り 短冊飾りハンドベル演奏（４日）	１月	新年会 音楽療法（１４日）
８月	涼のつどい 音楽療法（２０日）	２月	節分行事 豆まき・鬼踊り（８日）
９月	敬老表彰式 社協音楽隊の演奏（１１日）	３月	お花見ドライブ・散歩（２８日～）

②日々の工作や、レクリエーションの時間を通してできた作品は季節ごと、荘内に展示しました。

③料理作りをとおり利用者様・職員で楽しく交流を図る「料理を作る会」は、6月17日・10月22日、の2回行いました。

月	内 容	月	内 容
9 月	中庭の散歩お花の水やり（19日） （利用者様1名・職員1・実習生1名）	9 月	エステの日（23日）（利用者様5名・職員5名）
11 月	入浴エステ（1日） （利用者2名・職員2名）	12 月	お誕生日のスイーツ会（6日） （利用者3名・職員2名）

（３）終末への取り組み

①看取り学習会の開催 2月21日 オンライン視聴（テーマ）看取りについて

（４）地域に開かれた施設への取り組み

①ボランティアの受け入れ

- ・松川中学校生徒さんによるニコボラ（合計4回・5名）
- ・日赤奉仕団の皆さん（8月3日、1回10名）
- ・飯田信用金庫ボランティアの皆さん（10月6日 5名）
- ・こでまりの会の皆さん（7月10日 5名）いずれも外作業中心に行っていました。
- ・OB ボランティアの皆さん（6月28日 2名・11月12日 1名）傾聴・歌

②名子中央保育園との交流会

新型コロナウイルス感染症予防のため交流会は見合わせました。

③飯田短期大学実習生の受け入れ

- ・介護福祉専攻科 6月24日～7月5日 2年生 2名
- ・介護福祉専攻科 8月28日～10月11日 2年生 2名

④飯田短期大学事業所説明会

- ・オープンキャンパス事業所合同説明会 8月4日 2名参加
- ・介護福祉士を目指したきっかけ 10月8日 1名参加

⑤ふれあい広場荘内見学中止

地域住民の皆様と利用者様・ご家族の皆様に松川荘を知っていただく日として、ふれあい広場の日（午前中2時間）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、荘内開放は中止しました。

⑥希望の旅付き添い参加

- ・10月30日 1名参加

（５）楽しみの持てる食事提供

①個々の利用者様の心身の状態と嗜好に応じた栄養管理と、季節の行事に応じた行事食の提供等により、食べる楽しみと生きる喜びにつながる食事の提供に努めました。

②【行事食】誕生日献立（毎月）、敬老の日祝い御膳、秋の味覚献立、クリスマス特別献立、新年会特別献立、節分献立、ひなまつり献立、季節による献立（彼岸、七夕、年越し等）の他、毎月、郷土料理の日を設け、その土地の食材や、名物を取り込んだ献立でそこへ行った気分を味わっていただけるお食事を提供しました。

③ソフト食を取り入れ、嚥下力や咀嚼力の機能低下した方も飲み込み易く、原材料の味や見た目を生かしながら楽しみの持てる食事を提供しました。

- ④安心・安全な食材の選定と、手作りにこだわり、より美味しい食事を食べていただけるよう心がけました。

(6) 身体機能の維持と機能訓練の充実

- ①柔道整復師によるリハビリを実施予定でしたが新型コロナウイルス感染症予防のため、機能訓練指導員による生活リハビリを日々の生活の中で行い、残存機能の維持・向上に努めました。
- ②音楽療法士による音楽療法は、6月から再開し、今年度は、月1回のペースで行いました。一緒に歌い、生理的・心理的・社会的な効果を応用して、心身の健康の回復、向上を図りました。

(7) ご家族との連携を深める取り組み

- ①新型コロナウイルス感染症予防のため、家族会役員の方とも相談し今年度は家族会総会を取りやめ、報告事項送付にてご意見を頂きました。

(8) 利用者様とご家族のつながりを大切にする取り組み

- ①感染症対策を取りながら、面会を、4月1日～12月24日の期間行いました。12月25日～3月31日の期間は中止させていただき、窓越し対応をしました。
- (面会310組 552名 ・Zoom面会 0名)

(9) サービス満足度調査の実施

- ①7月に介護福祉施設サービス利用者のご家族(身元引受人)を対象に満足度調査を実施し、サービスの改善・向上に努めました。
- ②8月に短期入所生活介護利用者様とご家族(身元引受人)を対象に満足度調査を実施し、サービスの改善・向上に努めました。

(10) 委員会の設置

- ①部署を越えた職員で構成される委員会を設置し、利用者様の生活の質向上のために活動しました。

【設置委員会】

○法制度に基づく委員会

事故防止安全対策検討委員会／苦情対策委員会／感染症対策委員会／褥瘡防止委員会／身体拘束適正化検討・虐待防止対策委員会／喀痰吸引・経管栄養安全対策委員会

○松川荘独自の委員会

委員会名	主な取り組み内容
排せつ・入浴委員会	特殊浴槽動作チェック・トイレ内の整理整頓・外傷チェック 皮膚を守る排せつケア学習会・オムツパッドの当て方学習会
食事・口腔ケア委員会	口腔体操・歌と歌詞の作成・嗜好調査の実施・職員検食時利用者体験・口腔ケア学習会
行事・レクリエーション委員会	行事計画・実施・反省、誕生者の写真撮影・日常レクの充実・ 荘内作品制作、展示

4. 施設情報の発信

(1)「松川荘だより」の発行

- ①利用者様の生活の様子や施設内の出来事等を掲載した「松川荘だより」を発行し、施設情報の提供と、施設への理解促進に努めました。
 - 発行回数：年3回（7月、11月、3月）
 - 配布範囲：松川町全戸／身元引受人／近隣福祉関係事業所

5. 防災と災害復旧

(1) 防災・防犯訓練の実施

- ①防災訓練・消火訓練
 - 5月9日・10日 午後3時30分～午後5時00分
 - 訓練参加者：松川荘職員
- ②防災訓練・消火訓練
 - 6月8日 午前9時30分～午前10時30分
 - 訓練参加者：宗源原自治会の皆さん・松川荘職員
- ③防犯訓練
 - 11月14日 午後3時30分～午後4時30分
 - 飯田警察署より2名 松川荘職員

(2) 災害用備蓄の整備

- ①大規模災害に備え、生活必需物資の備蓄・管理に努めました。
- ②新型コロナウイルス感染症に備え、衛生用品等の備蓄・管理に努めました。

6. 社協組織の基盤強化

(1) 基本理念の浸透と基本理念に基づく事業運営

- ①松川町社協の基本理念を毎週1回唱和することで、職員への意識浸透を図りました。また、毎月1回の職員会議では、基本理念に基づいた体験発表を行い、理念の実践と共有を通じてさらなる理解を深める取り組みを行いました。

(2) 財源確保・使途の明確化

- ①毎月の運営会議・職員会議に於いて、介護保険動向と収支書を報告し、課題と分析を行い、職員全体で利用率の確保と経費削減に努めました。

（３）職員の資質向上

①職員の資質向上を図るため、それぞれの分野の専門家を講師にお招きして、以下の研修会を開催しました。

開催月日	内 容	講 師
４月２６日	身体拘束虐待防止学習会 (資料配布)	松川荘介護支援専門員 下沢しほ 氏
５月２２日・２３日	移乗移動学習会・介護事故防止	田園調布学園大学 竹田幸司 氏 介護労働安定センターWeb セミナー
５月２４日	認知症学習会	特養キノコ荘 原田まゆみ 氏 Web セミナー
５月２８日	感染症学習会①	下伊那赤十字病院認定看護師 松下美幸 氏
６月１０日	パッドの当て方学習会	白十字 橋本典昭 氏
６月２１日	接遇について	あいおいニッセイ同和損保 大西慶太郎 氏
７月２日・８日・１０日	喀痰吸引演習	松川荘看護師
８月５日	感染症学習会②（着脱訓練）	松川荘看護師
８月２２日	ノーリフティングケア	長野県介護福祉士会 麻績村 吉本由美子氏
９月１９日	ポジショニング学習会	下伊那赤十字病院認定看護師 森上幸恵 氏
１０月２２日	救命救急実技指導	高森消防署 三石 氏
１１月６日	口腔ケアとオーラルフレイル予防の取り組み学習会	信州口腔ケアネットワーク Web セミナー
１１月１１日	皮膚を守る排せつケアとは続けたくなる根拠・簡便性	白十字DケアセミナーWeb セミナー
１１月２６日	身体拘束虐待防止学習会	長野県看護協会 下伊那赤十字病院認定看護師 沢田泉 氏
１２月４日	メンタルヘルス	長野県産業保健総合支援センター 小澤静 氏
１２月１７日	感染症③吐物処理訓練	松川荘看護師
１月２４日	事故防止学習会①	松川荘生活相談員 大嶋若奈 氏
２月２１日	看取りケア	YouTube
３月１２日	事故防止②学習会	有限会社若葉 小池久男 氏

②体系的な職員研修プログラムを研究し、進めました。オンラインの研修も取り入れながら行いました。コロナ感染症感染時期もあり、当初の予定より時期がずれたものもありました。

③職員の意識統一と資質向上のため、月毎に事故防止・接遇・目指すべき姿等に関する目標を設定し、毎朝唱和して目標達成に努めました。

令和6年度 決算報告(事業活動計算書)

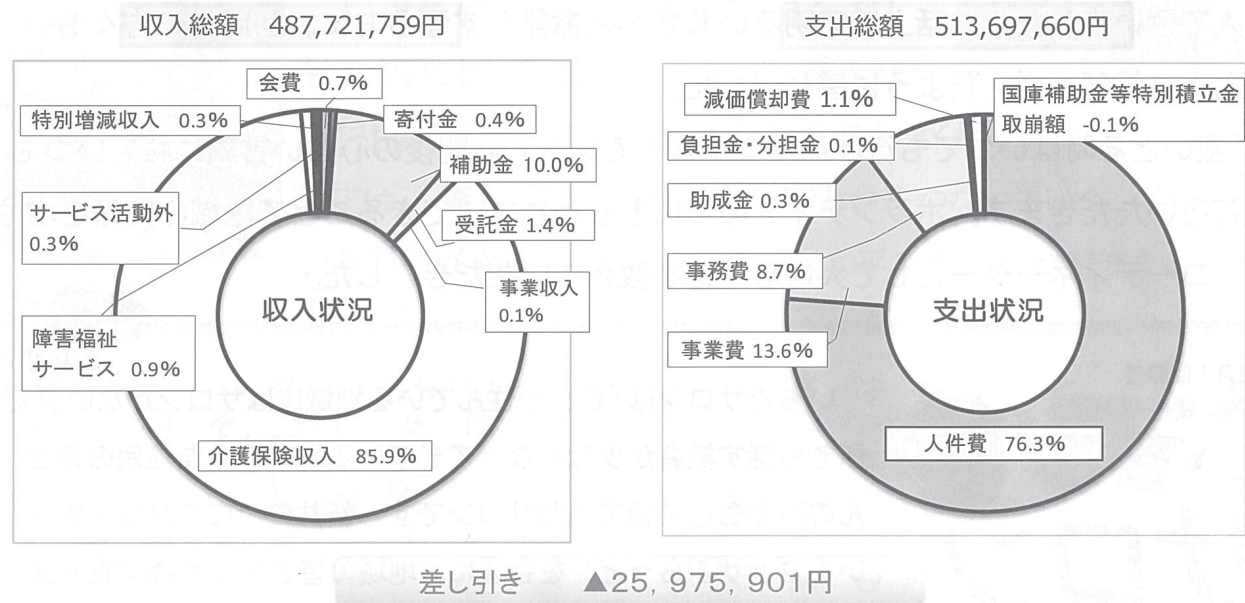
【サービス区分別収支状況】

単位：円			
サービス区分	収入金額	支出金額	残 高
地域福祉推進本部事業	80,264,506	89,891,023	-9,626,517
共同募金配分金事業	1,071,370	1,071,370	0
居宅介護支援サービス事業	36,384,118	32,525,392	3,858,726
訪問介護サービス事業	22,620,334	25,018,074	-2,397,740
通所介護サービス事業	103,013,573	122,415,616	-19,402,043
松川荘介護サービス	262,480,834	260,889,161	1,591,673
決算総額	505,834,735	531,810,636	-25,975,901

【財源別収入・使途別支出状況】

単位：円			
財源内訳	収入金額	使途内訳	支出金額
会 費	3,804,000	人件費	392,316,285
寄付金	2,082,526	事業費	70,076,904
補助金	48,556,546	事務費	44,640,178
受託金	6,830,400	助成金	1,599,550
事業収入	83,000	負担金・分担金	62,000
介護保険収入	418,912,586	減価償却費	5,670,714
障害福祉サービス	4,343,180	国庫補助金等特別積立金取崩額	-667,971
サービス活動外	1,537,861		
特別増減収入	1,571,660		
収入総額	487,721,759	支出総額	513,697,660

※【サービス区分別収支状況】には法人内で資金移動した18,112,976円が含まれています。



法人単位貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	185,051,541	201,894,314	-16,842,773	流動負債	44,409,950	47,490,683	-3,080,733
現金	57,227	55,765	1,462	未払費用	30,811,150	32,767,807	-1,956,657
預貯金	112,504,549	122,965,644	-10,461,095	預り金	148,094	463,748	-315,654
有価証券	10,000	10,000	0	賞与引当金	13,450,706	14,259,128	-808,422
未収金	72,479,765	78,862,905	-6,383,140	固定負債	152,269,981	140,677,387	11,592,594
固定資産	482,139,920	483,429,158	-1,289,238	退職給付引当金	152,269,981	140,677,387	11,592,594
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	負債の部合計	196,679,931	188,168,070	8,511,861
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	481,139,920	482,429,158	-1,289,238	基本金	1,000,000	1,000,000	0
車両運搬具	700,516	1,590,662	-890,146	基本金	1,000,000	1,000,000	0
器具及び備品	12,476,917	14,821,876	-2,344,959	国庫補助金等特別積立金	503,170	1,171,141	-667,971
ソフトウェア	640,320	1,312,288	-671,968	国庫補助金等特別積立金	503,170	1,171,141	-667,971
長期貸付金	211,800	200,800	11,000	その他の積立金	315,119,656	324,105,415	-8,985,759
退職給付引当資産	152,269,981	140,677,387	11,592,594	固定資産積立金	51,268,344	51,266,732	1,612
固定資産積立資産	51,268,344	51,266,732	1,612	財政調整基金積立金	217,763,485	227,743,835	-9,980,350
財政調整基金積立資産	217,763,485	227,743,835	-9,980,350	運営基金積立金	45,687,827	44,694,848	992,979
運営基金積立資産	45,687,827	44,694,848	992,979	くらしの資金積立金	400,000	400,000	0
その他の固定資産	120,730	120,730	0	次期繰越活動増減差額	153,888,704	170,878,846	-16,990,142
資産の部合計	667,191,461	685,323,472	-18,132,011	次期繰越活動増減差額	153,888,704	170,878,846	-16,990,142
				(うち当期活動増減差額)	-25,975,901	-25,975,901	-176,634
				純資産の部合計	470,511,530	497,155,402	-26,643,872
				負債及び純資産の部合計	667,191,461	685,323,472	-18,132,011